

全銀協の金融経済教育活動

平成24年11月

一般社団法人全国銀行協会

全国銀行協会とは・・・

- 国内で活動する銀行、銀行持ち株会社、各地銀行協会を会員とする民間非営利団体

- 活動
 - 決済システム等の企画・運営
 - 適正な消費者取引の推進
 - 社会貢献活動・コンプライアンスの推進
 - 銀行業務の円滑化

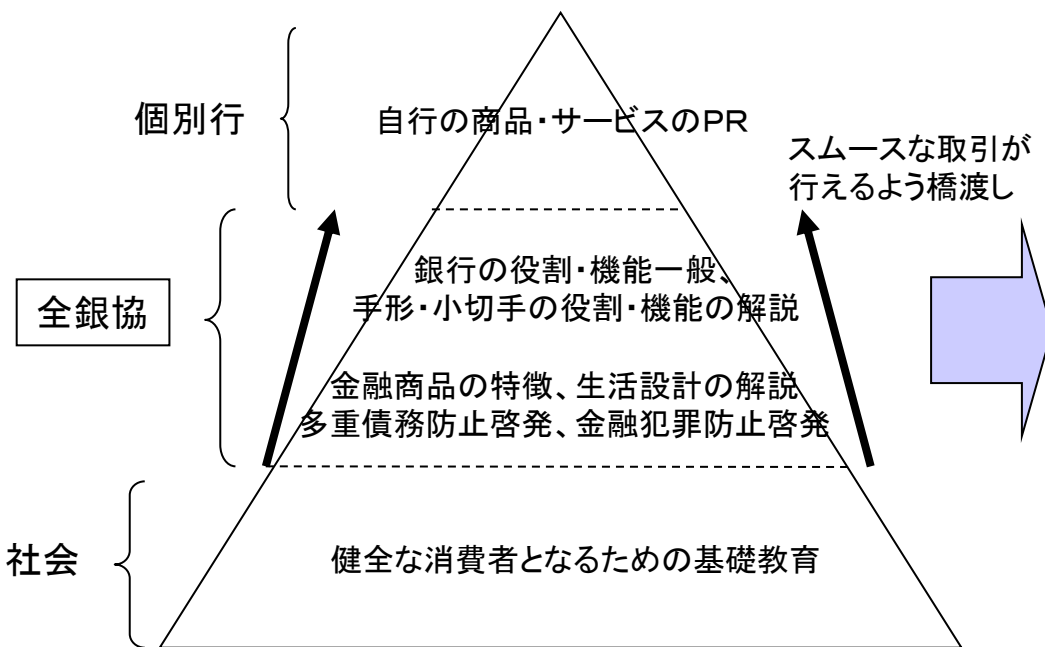
- 会員数(251会員)
 - 【正会員】都市銀行、地方銀行、第二地銀協加盟銀行、信託銀行など121行
 - 【準会員】外国銀行、ネット専門銀行など67行
 - 【銀行持ち株会社会員】3社
 - 【特別会員】各地の銀行協会(東京銀行協会、横浜銀行協会など)59協会
 - 【特例会員】ゆうちょ銀行

- URL : <http://www.zenginkyo.or.jp/>

1. 全銀協の金融経済教育の目的
2. 金融経済教育の全体像(ご参考)
3. 全銀協の金融経済教育の対象・内容
4. 活動①: 教材提供、HPを通じた情報提供
5. 活動②: どこでも出張講座
6. 活動③: 研究指定校制度
7. 金融経済教育の今後
8. (ご参考)パンフレット・教材

1. 全銀協の金融経済教育の目的

- 全銀協の金融経済教育は、協会の活動目的である、「適正な消費者取引の推進」「社会貢献活動・コンプライアンスの推進」の一環として行われており、基本的な金融知識の啓発や、規制緩和等により多様化・複雑化する銀行取引を消費者(将来の消費者を含む)がスムーズに行えるようにすることが重要と認識している。
- 従って、金融経済教育の目的を以下のとおりとしている。
 - 「銀行の機能を説明し、その社会的役割についての理解を得ること」
 - 「銀行取引を消費者(将来の消費者を含む)がスムーズに行えるようにすること」
- 更に、上記目的を踏まえ、金融経済教育の柱(特に重要と考えるリテラシー)を、①「銀行の役割・機能等の理解」、②「金融取引に関する意識・知識等の啓発」としている。



全銀協における金融経済教育の柱 (特に重要と考えるリテラシー)

銀行の役割・機能等の理解

- ・ お金、金融の働きと社会における意義の理解

金融取引に関する意識・知識等の啓発

- ・ 貯蓄、投資、借入れの意義の理解と適切な選択(家計管理と生活設計の理解が前提)
- ・ リスクとリターン関係の理解と金融商品の基礎的知識

2. 金融経済教育の全体像(ご参考)

「金融経済教育」とは、国民一人一人に、金融やその背景となる経済についての基礎知識と、日々の生活の中でこうした基礎知識に立脚しつつ自立した個人として判断し意思決定する能力、すなわち金融経済リテラシーを身につけてもらい、また、必要に応じその知識を充実する機会を提供すること

金融経済教育懇談会(平成17年6月)から抜粋

<p>分野</p> <p>対象</p>	<p>【経済や金融のしくみ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金や金融のはたらき ・経済把握 ・経済変動と経済政策 ・経済社会の諸課題と政府の役割 	<p>【生活設計・家計管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資金管理と意思決定 ・貯蓄の意義と資産運用 ・生活設計 	<p>【消費生活・金融トラブル防止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立した消費者 ・金融トラブル、多重債務 ・健全な金銭観 	<p>【キャリア教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働く意義と職業選択 ・生きる意欲と活力 ・社会への感謝と貢献 	
<p>学校教育段階</p> <p>社会人高齢者段階</p>	<p>金融経済学習の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材自体は豊富、学習指導要領にも相応の記述あり ○ 具体的な方法は現場の自由裁量 ○ 教育現場の意識等から制約あり (例) 投資と投機の区別なく「金儲け」の話はタブー視される傾向 等 <hr/> <p>金融経済情報の提供(投資家教育を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育機会・教育内容も対象者のニーズによって多様 ○ リスクの概念、投資と投機の区別、分散投資の基本も必ずしも知識として共有されていない 				<p>具体的に可能な金融経済教育活動の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材提供 ○ 教員に対する研修・支援 ○ 講師派遣 ○ 実践的・体験的な教育の場の提供 <p>・・・etc</p>

(参考) 金融教育プログラム(平成19年2月)
金融経済教育懇談会(平成17年6月)

3. 全銀協の金融経済教育活動の対象・内容

金融経済教育活動の対象と内容(学校教育段階)

内容 対象	銀行の役割・機能等の理解		金融取引に関する意識・知識等の啓発			
	銀行の役割・機能	手形・小切手の 役割・機能	金融商品・ サービスの特徴	多重債務 防止啓発	生活設計 ローン・クレジットの 機能	金融犯罪 防止啓発
小学生	○環境問題や産業界の技術開発の現状と、銀行の関わり方					
中学生	○金融の仕組み、銀行(金融機関)の役割				○家計管理、生活設計、ローンとクレジット、銀行と金融について	
高校生	○預金、為替、貸出など銀行の機能・役割	○手形・小切手の仕組み、記載内容、実際の利用方法等	○リスクリターンの説明と、金融商品の選び方、代表的な金融商品の紹介	○多重債務に陥った原因と解決策	○ライフプラン、家計管理ローン・クレジットの機能・役割	

- 教員や学生からのヒアリング調査等を踏まえ、ラインナップ追加を適宜検討。
- 授業での活用を想定し、ビデオをパンフレットの内容と連動したものにするなど、コンテンツの更なる充実を図っている。

3. 全銀協の金融経済教育活動の対象・内容

金融経済教育活動の対象と内容(社会人・高齢者段階)

	銀行の役割・機能等の理解		金融取引に関する意識・知識等の啓発			
内容 対象	銀行の役割・機能	手形・小切手の 役割・機能	金融商品・ サービスの特徴	多重債務 防止啓発	生活設計 ローン・クレジットの 機能	金融犯罪 防止啓発
成人	○銀行についての 疑問や質問に答 える形で理解を 深める	○手形・小切手の 仕組み、記載内 容、実際の利用 方法等を解説	○リスクリターンの説 と、金融商品の選 び方、代表的な金 融商品の紹介	○多重債務に 陥った原因と 解決策につい て考える		○振り込め詐 欺等の犯罪 防止啓発

- 基本的には年齢層で対象を絞っておらず、誰でも対象となりうる。
- 金融商品・サービスの具体的なニーズが発生する新社会人や定年退職者などの方に実施するのが効果的と考えているが、こうしたニーズの発生する前の方々(大学生、シニア社会人)は、取引ニーズが具体化するまでは一般的に関心は低く、また、高等学校以下のように対象者に集合教育を行う場が少ないことから、アクセスには工夫を要する。
- 高齢者に対しては、自治会・老人会等向け「振り込め詐欺」などの金融犯罪防止をテーマとする講演に呼ばれることから、金融犯罪防止啓発ニーズが高いと考えられる。

4. 活動①: 教材提供、HPを通じた情報提供

パンフレット・教材の提供

- 銀行の役割や金融商品などについて分かり易く解説したパンフレット、ビデオ、CD-ROMを作成し、無償で配布・貸出を行っている(以下のサイトからダウンロードして活用いただくことも想定)。

ぎんこう寺子屋

全銀協の金融経済教育サイト

<http://www.zenginkyo.or.jp/education/>

【消費者向け】

金融商品や金融犯罪防止等の暮らしに役立つ情報を提供

【学校・教員向け】

教材の利用法や授業の様態等を案内

The screenshot shows the homepage of the JBA Zenginkyo website. The header includes the JBA logo and the site name 'ぎんこう寺子屋'. There are navigation tabs for '暮らしに役立つコンテンツ', '授業で使える教材', '金融教育の取り組み', and '普及活動'. The main content area is divided into two sections: '暮らしに役立つコンテンツ' (Content useful for daily life) and '無料で刊行物' (Free publications). The '暮らしに役立つコンテンツ' section lists several topics: '金融商品を知る' (Know financial products), 'お金を借りる・返す' (Borrow and repay money), '金融犯罪を防ぐ' (Prevent financial crime), '銀行について知る' (Know about banks), '金融経済の基本' (Basics of financial economy), and '環境について学ぶ' (Learn about the environment). Each topic has a corresponding icon and a brief description. The '無料で刊行物' section mentions that the site provides easy-to-understand materials like pamphlets, videos, and CD-ROMs. There is also a section for '講師派遣' (Lecturer dispatch) for various groups.

5. 活動②: どこでも出張講座

コンセプト

- ▶ パンフレットやビデオを製作・配布するだけの片方向の情報提供に留まらず、講師を派遣し、実際に相手と対面する双方向での金融経済教育活動を行う。(平成15年度～)

【具体的内容】

各地域・グループ・学校などで開催される研修会や学習会などに、ご依頼に応じて講師を派遣。金融の仕組みや銀行業務に関して、希望に沿うテーマを柔軟に設定し、無料で対応。

【平成23年度の派遣実績】

○派遣先別内訳

学校（大学・高校・中学・小学）	51
消費生活センター	6
地方公共団体（職員向け）	5
地方公共団体（消費者向け）	2
金融広報委員会	2
その他	8
合 計	74

○テーマ別内訳

ローンとクレジット	29
銀行の役割・仕組み	16
金融商品の特徴等	8
金融取引の留意点	5
銀行業界の現状	5
金融犯罪防止	4
その他	13
合 計	80

(注)テーマの重複計上があるため、合計件数は一致しない

5. 活動②:どこでも出張講座(派遣例)

①学校

実施日	派遣先	実施テーマ
24.11.27	武蔵野東中学校	身近な経済と金融についての基礎知識(中学生)
24.11.19	千葉県立市原八幡高校	ライフプランとお金、ローン・クレジットのしくみ(高校生)
24.11.7	柳井学園高校	ライフプランとお金、ローン・クレジットのしくみ(高校生)
24.10.26	松本大学	最近の銀行界の動き(大学生)
24.9.12	都立大島高校	銀行の仕組みと役割(高校生)

②学校教員

実施日	派遣先	実施テーマ
24.10.13	家庭科を楽しむ会(兵庫県)	生活設計・マネープランゲームの解説と体験(高校家庭科教員)
24.8.9	徳島県教育委員会	お金と経済の基礎学習(知ろう学ぼうお金の使い方)(幼、小、中、高、特別支援学校の教職員)
24.7.25	栃木県金融広報委員会事務局	高等学校における金融教育の実践について(高校商業科教員)

③一般消費者

実施日	派遣先	実施テーマ
24.10.6	霧島市教育委員会 生涯学習課	知りたいと聞けなかったお金の話、賢い金融商品の選び方
24.9.20	熊本市消費者センター	「金融商品を選ぶその前に」～知りたいと聞けなかったお金の話～
24.6.27	新野崎老人会・新野崎自治会	振り込め詐欺にご用心!～金融犯罪の手口と対策～

6. 活動③: 研究指定校制度

コンセプト

- 「どこでも出張講座」の双方向での金融経済教育活動は、依頼を受けて対応するもの(受け身)であるため、自ら積極的に金融経済教育活動に取り組む。(平成22年度～)
- 対象者が集まっていることに加え、銀行の業務・役割への理解を高める効果やイメージアップ効果も期待できる学生(中学生・高校生)を対象とする。

【具体的内容】

金融経済教育活動に特に力を入れている学校を「金融経済教育研究指定校」として選定。指定校に対しては、当協会が制作する教材の提供や講師の派遣、会員銀行との連携による銀行見学などを多岐に組み合わせて教育カリキュラムを支援。

【平成22年度】

横浜市立市ヶ尾中学校、東京都立桜修館中等教育学校、春日部市立豊春中学校、筑波大学付属板戸高校、神奈川県立相模原総合高校

【平成23年度】

浜松市立庄内中学校、春日市立春日北中学校、大阪府立牧岡樟風高校

【平成24年度】

香川県立高松商業高校、同観音寺中央高校、神戸市立原田中学校、同湊翔楠中学校、川崎市立商業高校、同菅生中学校

7. 金融経済教育の今後

① 銀行業務からの目線

- ・ お客さまニーズに即した商品の多様化・高度化により、個別行における顧客保護、消費者保護などの役割が高度化しており、これに合わせた全銀協の金融経済教育の拡充が必要と認識。
- ・ 一方で、銀行取引を消費者がスムーズに行えるよう「橋渡し」する役割を担っている立場からは、金融経済の発展に合わせた基礎教育の充実も必要であると認識。
- ・ 政府の主導により、金融教育の目的と必要性についての国民的コンセンサスの醸成が図られ、とりわけ学校教育におけるご理解とカリキュラムへの導入が進むことを期待。

② 我が国金融経済教育の一翼を担っていることからの目線

- ・ 金融経済教育のうち、どの分野(内容)を誰が担うのか明確になれば、国民(消費者)にとって漏れなく基礎知識を得ることができ、自立した個人として判断する意思決定能力を身につけるうえで、より実効性が高まるものと思料。

我々としては、新学習指導要領の実施や金融経済教育に対する社会的な変化をふまえて、より効果的に金融経済教育が普及するよう引き続き努力して参りたい。

8. パンフレット・教材

(ご参考)

8. パンフレット・教材(小学生対象)

「地球みらいプロジェクト」

- 【内容】新しい環境対応自動車の電池の技術を開発した3人の大学生が起業する」というストーリーから、環境問題や技術開発の現状と、銀行との関わりを学ぶ
- 【対象年齢の目安】小学校高学年
- 【教科との連携】
社会科、総合的な学習の時間
- 【所要校時の目安】2～3校時

⇒DVDとワークシート



8. パンフレット・教材(中学生対象)

①「あなたと銀行のかかわり」

- 【内容】金融の仕組み、銀行(金融機関)の役割など
- 【教科との連携】
 - ・社会科(公民)・・・私たちと経済
 - ・総合的な学習の時間・・・キャリア教育
- 【所要校時の目安】2校時

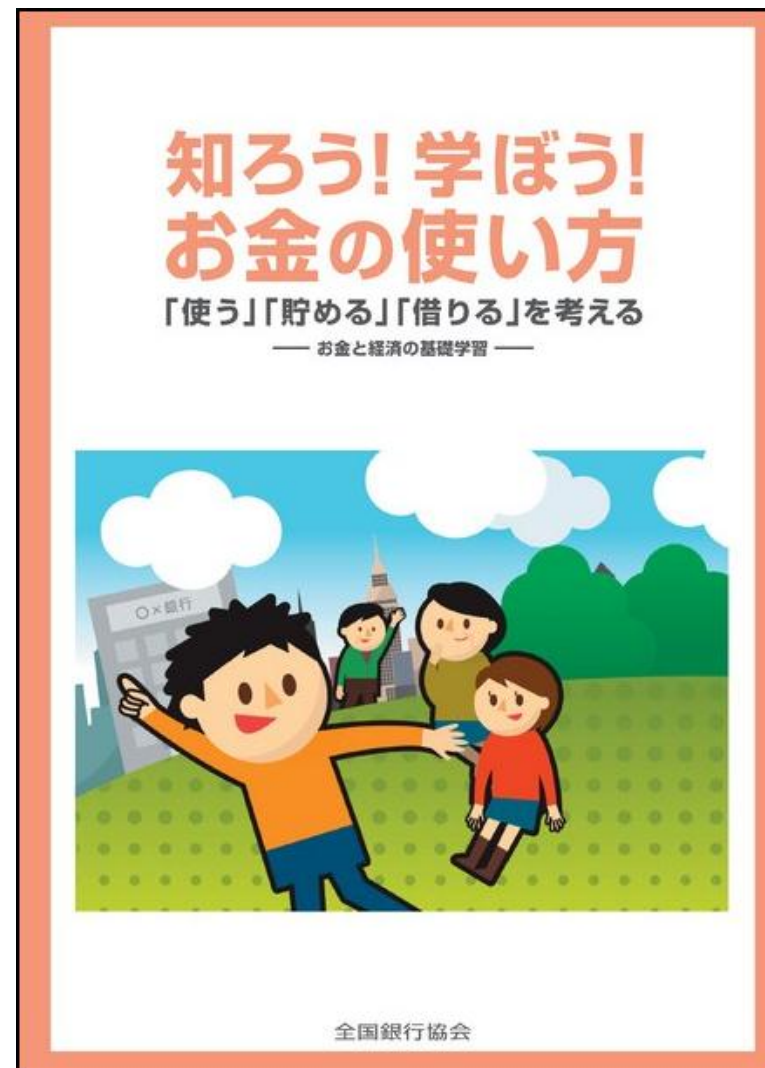
⇒生徒用テキスト、指導者用解説書



8. パンフレット・教材(中学生対象)

②「知ろう！学ぼう！お金の使い方」

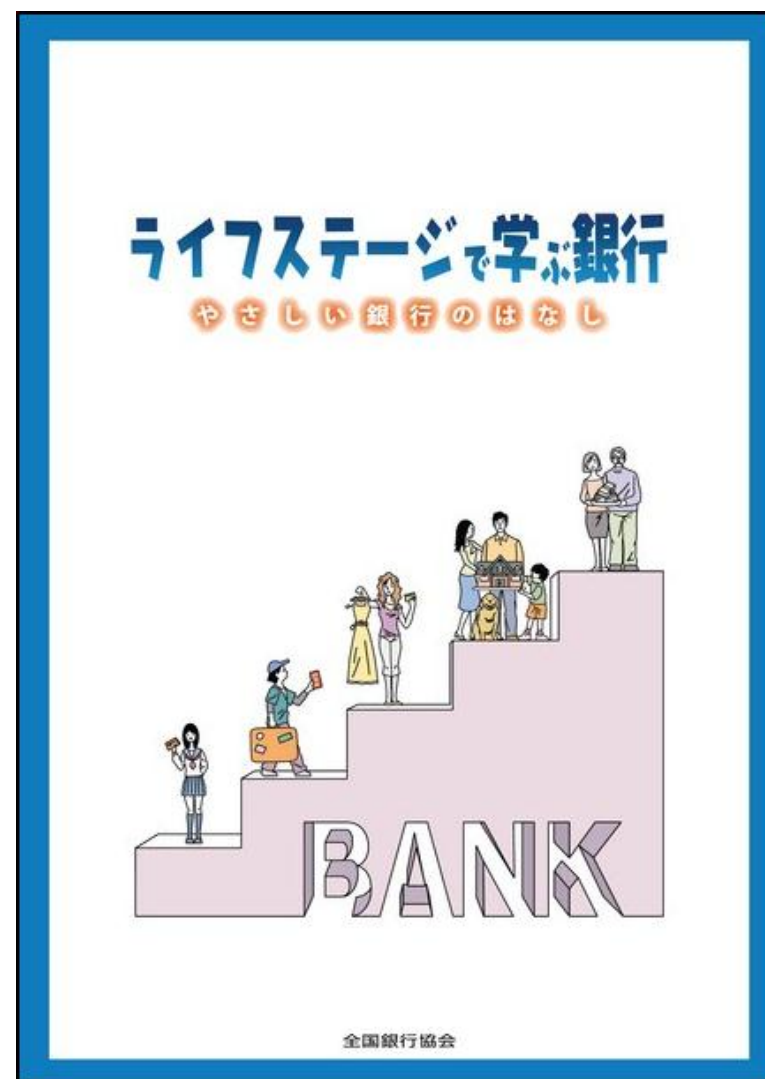
- 【内容】家計管理、生活設計、ローンとクレジット、銀行と金融
- 【教科との連携】
 - ・社会科(公民)...私たちの生活と経済
 - ・技術・家庭科(家庭)...家庭生活と消費生活について
 - ・総合的な学習の時間...金融経済教育・消費者教育・キャリア教育・ライフプラン教育
- 【所要校時の目安】5校時
 - ⇒生徒用テキスト、指導者用解説書、授業用スライド集、カードゲーム



8. パンフレット・教材(高校生対象)

①「ライフステージで学ぶ銀行」

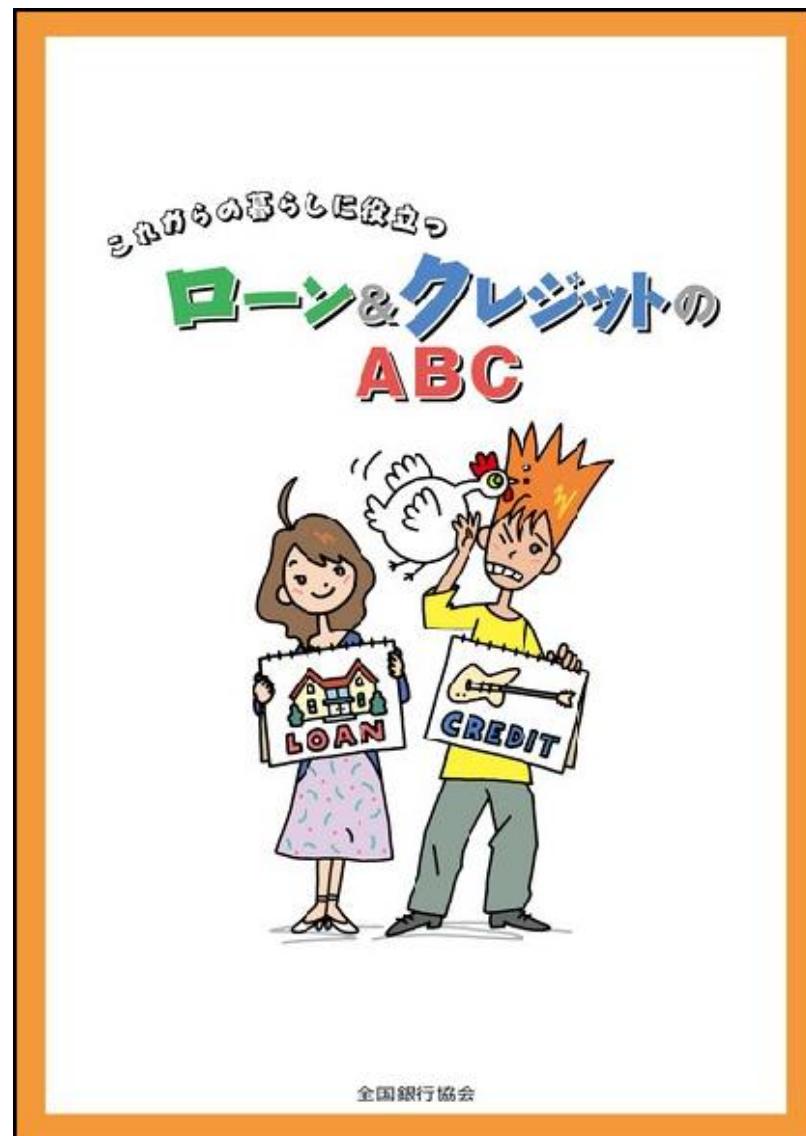
- 預金、為替、銀行の機能・役割、貸出、資産運用(リスク・リターン)を解説
- 指導者用解説書で指導計画例
 - ・公民科「現代社会」
 - ・公民科「政治・経済」
 - ・家庭科
 - ・商業科
 - ・総合的な学習の時間
- 授業に使えるスライド・図表などのデータをダウンロード可能



8. パンフレット・教材(高校生対象)

②「ローン&クレジットのABC」

- ライフプラン、家計管理、ローン・クレジット、信用、契約、金利、返済、多重債務、個人信用情報機関を解説
- 指導者用解説書で家庭科等の指導計画例を解説
- 授業に使えるスライド・図表などのデータをダウンロード可能



8. パンフレット・教材(一般・高校生対象)

「かんたんレシピでチェック 銀行の金融商品・サービス」

- リスク・リターンの説明と金融商品の選び方、代表的な金融商品・サービスの紹介(普通預金、定期預金、外貨預金、投資信託、個人年金保険)
- 預金保険制度、消費者保護等も解説



8. パンフレット・教材(一般・高校生対象)

DVD「知りたいけど聞けなかったお金の話
金融商品を選ぶ、その前に」

- 銀行が取扱うリスク性商品を
中心に、金融商品の基本的
な仕組みと留意点を説明



8. パンフレット・教材(中高生対象)

「生活設計・マネープランゲーム」

- 生徒に「人生には様々な選択がある」ことに気付かせると同時に、計画性を持って生活をしていく必要性があることを体感してもらうために作られたカードゲーム
- グループ分け(1班4~6人)のうえ、係り(班長・計算係・記録係・思い出係)を決めて進行
- カード(収入カード、支出カード、結婚・子育て・住居などの人生の選択カード、イベント・アクシデントカード等)を順にひいて、シートに金額やポイントを記入

